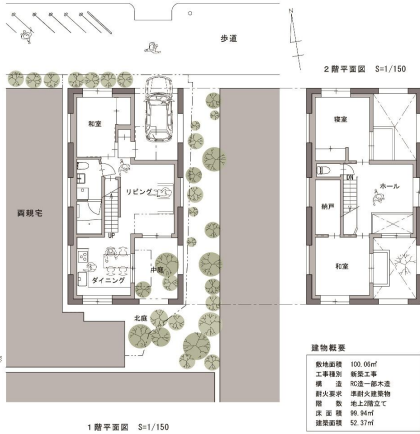
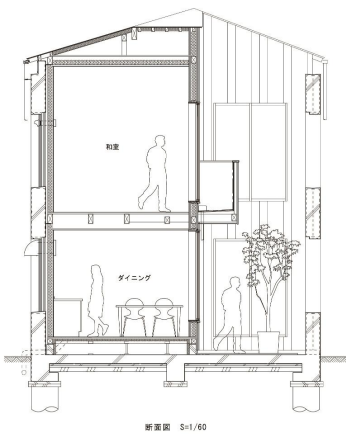


Refill 詰め替える



詰め替え用コンクリート壁

外壁一時耐火構造の耐火コンクリートを採用し、外周はコンクリートの壁を二層打ち上げる。外壁の開口は七三可変床（〇可変）下の階建てプランを考慮し、必然的に外部向き、それが中間領域（庭）となる。コンクリート壁の開口は、どの住まいでも採光が確保できるよう、シンプルに開けた。

設備管の縦埋設は一切せず、開口や地面の少し上を開けた貫通口を使うこととした。この納まりであれば、将来的な改修工事、コンクリート躯体を傷つけることなく施工できる。地震力、風圧は、コンクリートが負担するため、木造部分は構造負担がなく、柔軟なプランが計画できる。

詰め替える

かつて繁華街であった名古屋市中津池。以前ほど活気がないが、昔から住んでいる人が多く、下町の雰囲気が残っている。地主は、戦前からこの地に在る両家の面影を見守るために、隣に家を建てることにした。この辺りは、商業地域の防火地域、耐火要求は延焼防止と苦勞する。地主はこれらもどこの地にもあることを踏まえて、耐火火災に耐えうることを考えた。長く住まわせることをコンセプトとした。

百年先を考えた。何世代が住み変わっていくなかで、それぞれがその世代らしく住まうに変わっていった。壁の内側は木造とし、すまいに合わせ変えていくことで変えていく。耐火構造とすることで施工のハードルがあるが、木造であれば、大工の力で改修でき、すまいが柔軟に変えていく。また、又のかわりコンクリートは百年使うので、金銭的な面でもれからの時代にやさしい。

